

OBM マンスリー

2013.1月号 Vol.153

2013年1月25日発行

編集・発行

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会

大阪市北区中津1-2-19 新清風ビル2F

TEL 06-6372-9120 FAX 06-6372-9145

Eメール info@obm.or.jp

ホームページ www.obm.or.jp



50周年の節目の年を迎えて

会長 山田 吉孝



会員の皆様におかれましては、大阪ビルメンテナンス協会の事業運営に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、大阪府ならびに大阪市をはじめとする監督諸官庁等、関係各位におかれましては、当協会に変らぬご指導とご鞭撻を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、平成20年施行の法人制度改革で、5年以内の新制度移行が必要となったため、全国ビルメンテナンス協会は公益社団法人として、また、当協会は平成23年4月1日から一般社団法人として新たな歩みを始めました。この新法人移行と同時に会長に就任した私は、当協会会員が同時に全国協会会員でもあることから、公益社団法人と一般社団法人、双方のメリットを享受いただくことを念頭に協会を運営して参りました。具体的には、従来の公益事業は継続、発展を図りつつ、会員増強、労働災害の減少、情報発信の充実、親睦事業と共益事業の充実、委員会と部会活動の充実の5つを基本方針としました。

会員増強については、それまで減少傾向にあった会員数が昨年は増加に転じ、現在230社になりました。これは会員の皆様のご協力があったことと感謝申し上げます。今後もこの流れを止めないよう努めて参ります。

労働災害については、安全大会、衛生大会、無災害表彰、また、事故事例を全会員に周知する「他山の石」の配布等を通じ減災を図っています。これらの取組みもあり、全産業合計では約2年前から増加傾向にある労働災害が、斯業界ではほぼ横ばいで推移しています。

親睦事業と共益事業の充実、委員会と部会活動の充実については、会員が増加しているなかで逐次充実を図っているところです。

ところで、昭和38年6月15日に設立した当協会は、今年、大きな節目となる50周年を迎えます。これもひとえに会員の皆様方の協力、また関係各位のご指導、ご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

そこで、ビルメンテナンス業界・企業・協会が、更なる発展を遂げる未来に向けた礎となるような心に残る催しを行うべく、50周年記念行事三役会議、協会役員、各委員会・部会を中心に検討重ねました。その結果として、帝国ホテル大阪にて5月30日に記念式典、マイドーム大阪にて5月29日・30日に展示会を開催することが決定しました。後日改めてご案内させていただきますので是非ご参加ください。

また、将来に向けた協会活動の最重要課題として”人財”育成に取り組むべきと考えており、50周年の記念講演は、将来のビルメンテナンスの在り方またビルメンテナンス企業の考え方について講演いただく予定ですのでこちらも是非ご参加ください。

結びにあたり、皆様方のこの1年のご多幸、ご健勝をお祈りいたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

(平成25年1月9日に行われた大阪ビルメンテナンス協会賀詞交歓会での挨拶から)

スームアップ

ドラッカーから何を学ぶか

ピーター・F・ドラッカーを見直そうという機運があります。ドラッカーのマネジメント論は人と人が一緒に働くことの喜びや、人間の幸せの意味など生きるためのヒントが多く含まれています。

ドラッカーは多くの著書を残していますが、それらは生きた環境が大きく影響しています。「経済人の終わり」に、「経済至上主義に基づいた資本主義も社会主義も問題を解決できていない。あとは国家社会主義ということになる。でもそれも人間を幸せにはしてくれない。何か別の答えがあるはずだ。」と書かれています。これも時代を反映した言葉といえます。

人間を幸せにする社会とはマネジメントの世界であり、組織のなかで人と人は、それぞれの理想を抱きつつ、いろんな工夫をしながら仕事をしていく。そうしたマネジメントの積み重ねが文明となるという考え方です。

ドラッカーは1909年、オーストリア・ハンガリー帝国の首都ウィーンで生まれ

ました。幼い頃から文明に興味を持ち、社会や政治にも関心を抱くようになります。

証券会社で働き始めてすぐに、ドラッカーは19歳の若さで論文を書きます。経済記者と非常勤大学講師を経て、「全体主義のもとでは、書くことも教えることもできない」と確信し、ドイツを離れ、イギリスのロンドンに渡りました。

ロンドンに渡ったドラッカーは、アナリストとして働いていましたが、自分にとって関心のあるものは、金ではなく、人間や社会だと気づきます。そう思い直したドラッカーはアメリカへと移住します。

アメリカに渡ってからは、非常勤大学講師とライターをやりながら、今までヨーロッパで見たことをまとめる作業に取り掛かりました。

会社とは誰のために存在しているかという問いに対し、「会社は社会のためである」というのがドラッカーの説です。有名な言葉に「会社は社会の公器である」という一節がありますが、「会社とは社会から人材や資源を預かり、社会に必要とされるものを提供する役割を果たすものである」というのがドラッカーの考え方です。

会社にとって利益が大切なものであるのは確かですが、決して「目的」としてはいけません。

ドラッカーは会社の目的の定義はただひとつ「顧客を創造すること」にあると主張します。顧客の創造とは、客に求められているものを創造することです。

会社とは、この社会で暮らす人々に、便利さや快適さ、喜びを届けるために存在している。そしてそれによって、よりよい社会がつくられていく。それが会社の存在理由です。利益はそうした活動を続けていくために必要なだけです。

マネジメントには「自らの組織に特有の使命を果たす」「仕事を通じて働く人々を生きる」「社会に貢献する」の三つの役割があるといえます。

そして、マネジメントをする人に必要とされるのは才能ではなく、「真摯さ」だと説きます。役割に応じ必要な資質、能力がありますが、その第一歩として「真摯な態度で取り組むこと」これがドラッカーから学ぶ、最も重要なことです。

(警備防災部会 小林初男)
※警備防災部会では、折にふれてドラッカーの勉強会を行っています。

24年度 第10回 理事会

1月9日(水) 帝国ホテル大阪

1. 報告事項

①第9回理事会決定事項報告

2. 審議事項

①新年会進行について

3. その他

委員会・部会

経営委員会

12月12日(水) 出席者13名 協会展示室

1. IS050001エネルギーマネジメントシステムについて

JET(=一般財団法人電気安全環境研究所)小西室長を招き講義を受けた。

IS050001とは、国際標準化機構(ISO)が2011年6月に発行した「企業等で使用するエネルギーを管理し、継続的改善を図ることを目的とした国際規格」である。

講義内容(要約)

- ・IS050001制定の背景
- ・日本国内の状況
- ・日本のエネルギー使用量
- ・委託事業の入札におけるエネルギー管理システム規格の活用について
- ・導入のメリット

2. 大阪ビルディング協会との「合同経営委員会」についてテーマ等を検討した。

広報委員会

12月4日(火) 出席者7名 協会展示室

1. 「OBMこみゆにけ〜しょんず」H25年新春号の初稿校正を行った。
2. 「OBMこみゆにけ〜しょんず」H25年新春号の表紙デザインを決定した。

12月18日(火) 出席者7名 協会展示室

1. 「OBMこみゆにけ〜しょんず」H25年新春号の最終校正を行った。
2. 「OBMマンスリー」12月号の編集作業を行った。

総務友好委員会

12月14日(金) 出席者13名 協会会議室

1. 新年会について当日の実施事項を確認した。
2. ボウリング大会の準備について確認した。
3. 50周年行事について今後の実施事項を確認した。

総務友好委員会 賛助会世話人会

12月14日(金) 出席者12名 協会会議室

1. 協会設立50周年記念展示会の運営について検討した。

労務委員会

12月12日(水) 出席者13名 協会会議室

1. 労務管理セミナーについて
 - ・2月27日に開催予定
 - ・講師は労働局に依頼
2. 和歌山協会、奈良協会安全大会の参加報告
3. 安全衛生規定の見直しについて
 - ・大阪協会HPにて閲覧できるようにするか検討
 - ・法令内容の更新など全国協会に確認が必要
4. 11月分労働災害報告業務災害3件、通勤災害3件

ビルクリーニング部会

12月19日(水) 出席者24名 協会会議室

- 全体会議
1. A班「免許皆伝 ビルクリーニング必読書 新版」の最終確認を行った。
 2. B班「床材トラブル事例と対処法」の最終確認を行った。

警備防災部会

12月5日(水) 出席者13名 天王殿

1. 防災実践講座の結果報告が行われた。
2. 警備防災部会全体集会の実施報告が行われた。
3. 地震対応消防訓練啓発DVD(中小規模ホテル編)の無料貸し出しについて説明が行われた。
4. 震災危機管理セミナーの受講報告が行われた。

設備保全部会

12月20日(木) 出席者14名 協会会議室

設備保全部会第8回委員会部会

1. 各小委員会活動報告(研修・見学会)
 - 1月24日(木) 午後に関電・堺発電所見学(40名)。(環境衛生業務研究)
 - ①2月8日(金)に植物の力を引き出す5つの発想“フリースタイルガーデニングのすすめ”の講演会を行う。
 - ②3月頃に50ページ程度の小冊子作成予定。

近畿地区本部だより

●平成24年度ビルクリーニング技能検定始まる
1月16日(水)から1月31日(木)まで日曜を除く14日間行われる。受検者は436名。内訳は別表通り。

学科試験については2月3日(日)に全国一斉に実施され、近畿地区の開催場所は大阪国際会議場で行われる。

平成24年度ビルクリーニング技能検定受検者数

協会名	受検科目				合計
	A甲 実技・ 学科	A乙 学科 のみ	B 学科 のみ	C 実技 のみ	
京都	34	0	0	4	38
大阪	188	2	17	78	285
兵庫	5	0	0	4	9
滋賀	6	0	0	0	6
奈良	0	0	0	0	0
和歌山	1	0	0	0	1
ネット他	82	0	3	34	119
合計	316	2	20	120	458

会員だより

●住所・電話番号・FAX番号変更

[賛助会員]

・株式会社ユーホーニイタカ
〒136-0075

東京都江東区新砂1-6-35

イーストスクエア東京707

TEL 03-5633-2520 FAX 03-5653-3575

(平成25年1月15日より)

●代表者変更

[賛助会員]

・ディパーシー株式会社

(新)代表取締役社長 三隅俊郎様

(旧)代表取締役社長 ミケル・リーナス様

(平成25年1月1日より)

講習会のお知らせ

◆近畿地区本部だより

●平成24年度建築物排水管清掃作業従事者 研修(大阪会場)のご案内

①開催日時:平成25年2月5日(火) 9
時30分~17時

②開催会場:新清風ビル
大阪市北区中津1-2-19

③定員:90名

④受講料:¥13,000.-
(テキスト代・消費税含)

⑤閉め切り:平成25年1月29日(火)

※詳細は、12月の送達文書でご確認下さい。

◆ビル管理教育センターだより

●空気環境測定実施者(新)

平成25年3月25日(月)~29日(金)

於 阪急千里中央ビル

受付 平成25年1月31日(木)~2月6日(水)

※お問い合わせ先

関西支部

豊中市新千里東町1丁目4番1号

阪急千里中央ビル9階

TEL 06-6836-6605

忍辱波羅蜜(にんにくはらみつ)

理事 兵東 勇

年初は誰しも希望の持てる年であれと願うものですが、現代は社会的、経済的環境が極めて複雑化、多様化しており、またその変化も急激です。このような時代にあっては、さまざまなことごとについて将来を予測し、判断し、行動することが要求されると思います。しかし、昔から未来予測というジャンルがありますが、かの原発の津波被害や昨今のこれほどまでの円安・株高など誰が予測できたでしょうか。大地震など予知できるはずはないと言う学者もいますし、膨大な金をかけた気象システムを駆使した天気予報が外れても予報官は反省の素振りを見せることはなく、そのためにゴルフをあきらめた時など絶対許せない!そこで、一年の計をめぐらせようと将来のことなどあれこれ考え、悩むことはそこそこにして自分の意志でコントロールできることを目標にすることにしました。

最近気になるのがやけに腹の立つことが多くなったことです。天気予報もそうですが、昼飯時に好物の焼き魚を注文し「鯖は頭のほうにしてくれ」と頼んだら「頭を食べるんですか?」と怪訝な顔で聞き返されたり、金沢・兼六園で切符を

買おうとしたら、年齢確認もせずに「お客様は無料ですからどうぞ」とよどみなく言われたりすると、その不条理に無性に腹が立つのです。このような出来ごとは私のスケールに合わない世の中が悪いからだと思ってしまうばかりですが、先日ある高貴な坊さんの法話を聞き問題は私自身にあるのだと悟りました。

表題にある波羅蜜は般若心経にも出てきますが、悟りを開き仏の境地に達するための実践修行のことで、六つの波羅蜜のうちの一つが忍辱波羅蜜ということです。忍耐力がないことから些細なことで腹を立てるようなことをせず、我慢し耐え忍ぶ修業を積みなさいとの教えです。その一つの答えが「私が腹を立てた相手の人は輪廻転生説からいうときと人間に初めてなった人に違いなく何の経験も積んでない人なのだ」ととらえ、一方「私は何度も生まれ変わって十分に道理もわかまえている」と相手を憐れむことで自然に寛容さが身に付き、人間も丸くなって、たびたび怒髪天を抜き前後不覚になることなどなくなるということです。

今年もいろんなことが私を襲ってきそうですが、どんなに頭に来ることに出くわしても、根性を据えて決して動ずることなく、また、物事に寛容でこだわりを持たず心豊かな人間になれるよう心がけることを目標にしました。あの人は徳が高いと言われなくとも……

全協 重大災害発生報告書から

(公社)全国ビルメンテナンス協会では昨年秋から会員企業で発生した労働災害の報告を受け、その内休業91日以上又は死亡を重大災害として公表し、同種事故防止の水平展開をしています。今回は3件の重大災害を紹介します。「他山の石」として現場で活用して下さい。

1 階段から転落(17段、3.4m)67歳女性、清掃 経験1年3ヶ月

発生日 平成24年6月2日13時40分頃

発生場所 ビル6階階段室

傷病名 右腕・恥骨骨折、顔面挫創

発生状況 エレベーターホール天井の換気口をハンドバキュームにて清掃中、体勢を入れ替えたところ、階段に気付かず、転落した。

原因 体勢を変える際、足元を見ないで後ろ向きに作業をしようとした。

現場の判断でモップによる清掃からハンドバキュームで吸塵しウエスで拭き上げる作業方法に変更していたが、事業部に報告・相談はなく、作業状況の確認・把握ができていなかった。

再発防止対策

①ハンドバキュームは使用せず、フラワークリーンを使用する。

②階段から十分な距離を取る。(具体的に1mとした)

③階段に対して前を向いて行う。

上記①②③について指導を行い、現場のスタッフの判断だけで作業方法や資機材を選定せず、

事業部と相談・確認を行うようにした。

2 自転車での転倒 35歳男性、清掃 経験3年

発生日 平成24年12月9日16時30分頃

発生場所 路上

傷病名 左手小指骨折・靭帯損傷

発生状況 勤務終了後、自転車にて帰宅中、前輪に物を巻き込み転倒

原因 前方不注意

再発防止対策 自転車でも事故を起こせば、大災害になる可能性がある事の意識向上と社内報による注意喚起

3 床での転倒 53歳女性、客室清掃 経験2年1ヶ月

発生日 平成24年12月12日10時頃

発生場所 リゾートホテル

傷病名 膝の半月板の亀裂

発生状況 ホール床面洗浄、ワックス作業後の移動中に段差につまづき、バランスを崩し膝を床に強打、しばらくは動けたが、痛みがひどくなり作業困難になった。

原因 床の段差を見落とし、つまづいた。

再発防止対策 作業前に作業範囲や動線の安全確認を行い作業に入る。

3件とも休業91日以上以上の災害です。「転倒・墜落・転落」については労務委員会作成の「転倒・墜落・転落 事故防止運動のリーフレット」を参考にしてください。OBMのHPに掲載しています。

KKCお薦め講習会（2月）

2月開催予定のKKC主催の講習会は、次のとおりです。受講をご希望の方は早めにお申し込み下さい。講習会場は「派遣元責任者講習」を除き新清風ビルです。

なお、詳細はKKCのホームページ（URL <http://www.bmkkc.or.jp/>）にも掲載しております。受講申込書がダウンロードできますので、内容をご確認のうえ、必要事項を記入してFAXにてお申し込み下さい。

●貯水槽清掃作業従事者研修

この研修会は貯水槽清掃業の知事登録業者に義務づけられた貯水槽清掃作業従事者研修を、厚生労働大臣の登録を受けてKKCが各企業に代わり実施するものです。修了者には知事登録申請の際に使用できる修了証書を交付します。

<日 時>平成25年2月7日（木）9時～17時

●警備員現任教育

施設警備を担当する現任警備員を対象に、今年度から実施している講習会です。ビルの安全・安心を護る警備員の

ための、防災面を重視した現任教育ですので、多数の警備員の方の受講をお願いいたします。なお受講修了者には「教育実施証明書」を交付いたします。

<日 時>平成25年2月13日（水）9時～18時

●ビル清掃業務入門コース

クリーンクルーの新規採用者・新入社員を対象に、洗剤・ワックス等の基礎知識と、ほうき・モップ・ポリッシャー等のビル清掃の基本作業を身に付けるコースです。

<日 時>平成25年2月15日（金）9時～17時

●派遣元責任者講習

労働者派遣事業を行ううえで、派遣元の適正な雇用管理や苦情等の迅速な解決など適切な就業を確保するためには「派遣元責任者」の役割は重要です。一般労働者派遣事業では、派遣元責任者講習を受講していることがその選任の要件となっています。KKCでは派遣元責任者講習の実施機関として厚生労働省より認められ、本講習会を開催しています。派遣元責任者は3年（以内）毎に派遣元責任者講習を受講する必要があります。再講習、新規にかかわらず本講習会を受講されますことをお勧めいたします。

<日 時>平成25年2月21日（木）10時～17時10分

<場 所>エルおおさか（大阪市中央区）

<受講料>KKC正会員・協賛会員 6,000円
一般 8,000円（税込・テキスト代含む）

申込・問合せ：一般社団法人関西環境開発センター
教育訓練部

電話：06-6372-9123

FAX：06-6450-8038

E-mail:bmkkc@swan.ocn.ne.jp

O B M行事予定

1月	25	金	賛助会世話人会 ビルクリーニング技能検定(実技 ～1/31)
	26	土	
	27	日	
	28	月	
	29	火	設備保全部会(ホテルコムズ大阪)
2月	30	水	
	31	木	
	1	金	理事会
	2	土	
	3	日	ビルクリーニング技能検定学科試験(大阪国際会議場)
	4	月	
	5	火	建築物排水管清掃作業従事者研修(大阪会場)
	6	水	青年部分科会
	7	木	警備防災部会 KKC貯水槽清掃従事者研修
	8	金	設備保全部会講演会「これからの都市緑化について」
	9	土	
	10	日	
	11	月	
	12	火	
	13	水	経営委員会 広報委員会 KKC臨時総会 KKC警備員現任教育
	14	木	KKC堺市受託事業研修会
	15	金	ボウリング大会 ビルクリーニング部会 ビル設備管理科訓練2級学科 KKCビル清掃業務入門コース
	16	土	
	17	日	
18	月		
19	火	賛助会ミニ展示会・講習会	
20	水	公益・契約事業委員会 労務委員会	
21	木	清掃作業従事者研修指導者講習会(大阪科学技術センター)	
22	金	職業訓練校合同企業説明会 ビル設備管理科訓練2級学科	
23	土		
24	日		

《第20回OBMボウリング大会のご案内》

- ・日 時 2月15日(金) 集合：18時（時間厳守）
開会：18時30分
- ・会 場 イーグルボウル TEL06-6394-3232
大阪市淀川区宮原4-3-9（地下鉄新大阪駅すぐ）
※2階で受付します。
- ・エントリー 30組（120名）※1チーム4名・先着順
（定員になり次第、締め切ります。）
- ・申込期限 1月31日（木）
- ・参加費 1チーム（4名）17,000円
※当日会場受付にてお支払い下さい。



*その他詳細は1月15日付FAXにてご案内しておりますので、ご確認下さい。お手元がない場合は事務局までご連絡下さい。

編集雑感

新年を迎えて思う

あけましておめでとうございます。
昨年12月16日に衆議院選挙が行われ与野党逆転で政権が交代した。

安倍自公政権が誕生し「デフレからの脱却、経済再生」等を目指す動きになり、暮れから新年にかけて株価が上がり、円安となった。

巳年の「巳」には「始まる」とか「起きる」とか「脱皮」というような意味が含まれるとの説もあり、巳年の新年を迎えて、これまでの日本の「閉塞感」を打破する始まりとなることを期待する国民が多いと思う。

確かに新年を迎えて気分的には景気回復に向けて動き出した感はあるが、実体経済の回復・所得の向上までにはかなりの時間がかかると思われる。

我々のビルメンテナンス業界も経済低迷の影響を一番先に強く受ける業界であり、ここ数年以上に亘り仕事が減り受託費が低下を続けていただけに、何とか景気が上昇し受託費の低下に歯止めがかかり是正が図られる方向になるよう期待したいものである。

しかしながら毎年、政権が交代し政治、経済、外交等の多分野で政策が安定していない国が今のグローバル競争下の国際社会では通用しないことは、ここ数年の日本の国際的地位の低下から見ても明らかである。

今年の夏には参議院選挙が行われるが、この選挙を経て安定した政権が確立し、「東日本大震災の早期復興や経済再建、財政再建」等の取り組みが順調に進むようになり、結果を出して日本の再興を図って頂きたいものである。

そうでないと我々ビルメンテナンス業界も地盤沈下を続けるばかりであり、大阪ビルメンテナンス協会が設立50周年を迎え新たなビルメンテナンスを目指して飛躍を期そうとしても環境が整わないのではないかと思う。

どうぞ今年が我々ビルメンテナンス業界にとっても「脱皮」、「反転攻勢」のターニングポイントの年になりますように…（祈り）

（S・T）